

## 1. 単元目標、

- ・ 進んで、夏休みの思い出について伝え合おうとする。【コ】
- ・ 夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。【慣】
- ・ 過去のことを表す表現があることに気づく。【気】

## 2. 単元評価規準

- ◎夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりしている。
- ◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。
- ◎他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合っている。

## 3. 表現

○I went to (my grandparent's house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream).  
It was [fun/ beautiful/ delicious/ exciting].

○grandparent, vacation, shaved ice, 動詞過去形(went, ate, saw, enjoyed, was),

自然 (beach, mountain, lake, river,) 動作 (hiking, camping)

[既出] my, it, sea, スポーツ, 果物・野菜, 飲食物, 季節, 動作, 身の回りのもの, 状態・気持ち

## 単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ 慣 気 評価規準＜方法＞		
		コ	慣	気
1	<p>◆過去形の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (WC2-U5) 「Small Talk」</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Listen 1】 P36 前半 「夏休みの思い出について聞こう。」</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Play】 ポインティングゲーム</li> <li>・ 「夏休みに行った場所を伝え合おう。」</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. (She can run fast. He can sing well.) p.35</li> <li>・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</li> </ul>		○	<p>◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。〈発表観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
2	<p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所と食べた物を言ったり聞いたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. p.35</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Play】 ポインティングゲーム</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 1】 夏休みについて聞こう。</li> <li>・ (WC2-U5) フェイントリピートゲーム</li> <li>・ 夏休みに行った場所や食べたものを伝え合おう。</li> <li>・ Jingle “Food Jingle.”</li> <li>・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</li> </ul>			○ <p>◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。〈発表観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことを言ったり聞いたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation.</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Play】 ポインティングゲーム</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Listen 2】 誰がどんなことをしたのか聞き取ろう。</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 2】 夏休みの思い出について聞こう。</li> <li>・ (WC2-U5) 夏休みの思い出について伝え合おう。</li> <li>・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</li> </ul>		○	◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。〈発表観察・記述観察・振り返りカード点検〉
4	<p>◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことやその感想を言ったり聞いたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation.</li> <li>・ (WC2-U5) フェイントリピートゲーム</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Listen 3】 夏休みの思い出について聞こう。</li> <li>・ 夏休みの思い出について伝え合おう。</li> <li>・ (WC2-U5) 【Let's Read and Watch】 「夏休みの日記を読もう。」</li> <li>・ (WC2-U5) 【STORY TIME】</li> <li>・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</li> </ul>		○	◎他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉

## 2-Lesson 5 My Summer Vacation. 1/4 時間

目 標 ◆過去の表現の仕方がわかり，夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。

準 備 『We can! 2』 デジタル教材，教師用カード（施設・場所・動作・飲食物），児童用テキスト

児童の活動	指導者の活動	準 備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)</li> <li>・○【Jingle】 Food Jingle.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶を する。</li> <li>・児童の実態に合わせて，バージョン・速度を選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材</li> </ul>
<p>○Small Talk：夏休み 指導者の話を，反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p>	<p>指導者の夏休みについて話す。 一方的に話すのではなく，児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</p> <p>【Let's Listen1】の活動に入る前に，指導者の夏休みについて話し，活動につなげる。その際に，それが過去の話であることが分かるように，カレンダーで今日の日付を確認してから，いつの話かをカレンダーの日付を示して話すようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みを紹介する写真や実物など。</li> </ul>
<p>Small Talk の例 Today is September. (date). In summer vacation, I went to the sea with my family. I enjoyed swimming. It was fun. I ate watermelon. It was delicious. How about your summer vacation? Good time? Now, let's listen to the talk.</p>		
<p>○（WC2-U5）【Let's Listen 1】 p. 36 「夏休みの思い出について聞こう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の夏休みの思い出について話している映像を視聴し，行った場所，そこでしたこと，食べたものを話の内容に合うように，誌面上の登場人物と絵を線で結ぶ。</li> <li>・2回程度繰り返して聞く。</li> </ul>	<p>※本活動において初めて「I went to～, I enjoyed ～, I ate～, It was ～,」の表現が登場する。 音声聞かせた後は，音声で出会った I went to や I enjoyed の表現を繰り返して聞かせて慣れさせることができるように，Kosei went to～. How about you? などと児童とやりとりをするとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I went to ～. の表現を繰り返して聞かせることがねらいであるため，無理に言わせず，促す程度にとどめる。</li> </ul>	
<p>○（WC2-U5）【Let's Play】ポインティングゲーム p.34 p.35</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が言う施設・場所・動作，飲食物の絵を指さす。</li> <li>・指導者の後に続いて繰り返しながらゲームに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームに入る前に，指導者は児童にテキストを閉じさせ，これらの語句を表すジェスチャーをやってみせ，児童から答えを引き出し，それを英語に直す形で，これらの語に出会わせるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材</li> </ul>
<p>○夏休みに行った場所を伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに行った場所をペアで伝え合う。</li> <li>・ペアを替えて繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで夏休みに行った場所に伝え合うように指示する。</li> <li>・何度も聞いたり言ったりした I went to～. を使って自分のことを言わせることがねらいである。</li> <li>・特別なところに行かなかった児童もいることに配慮し，学校の近くの公園，買い物等も含めて伝え合う様に指示する。</li> </ul>	
<p>○（WC2-U5）【Let's Chant】 Summer Vacation. 音声を聞きながら，言ってみる。</p> <p>○Sounds and Letters「アルファベットを書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考例に習って，四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。</li> <li>・振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞こえた語を児童と確認しながら，一緒にチャンツを歌う。</li> <li>・児童の実態に合わせて，3文字だけ書く。</li> <li>・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</li> <li>・感想を発表させる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート3枚</li> <li>・振り返りカード</li> </ul>

## 2-Lesson 5 My Summer Vacation. 2/4 時間

**目 標** ◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所と食べた物を言ったり聞いたりすることができる。

**準 備** デジタル教材、教師用カード（飲食物）、飲食物の写真など、児童用テキスト、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
<p>○挨拶をする。</p> <p>○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus シングル) 【Jingle】 Food Jingle.</p> <p>○ (WC2-U5) 【Let's Chant】 My Summer Vacation.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> <li>・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。</li> <li>・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル教材</li> </ul>
<p>○ (WC2-U5) 【Let's play】 ポインティングゲーム p 3 4, p 3 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時と同様に取り組む。</li> <li>・ 指導者の後に続いて、表現を繰り返し使いながらゲームに取り組む。</li> </ul> <p>○ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 1】 p36</p> <p>世界の国々の子ども達が夏休みの思い出について話している映像資料を視聴し、誰が何をしたか等を誌面の表に記入する。また、日本の夏休みとどのように違うのか比べながら聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵カードをさし、I went to～. I ate ～. I enjoyed～. の表現を使う。</li> <li>・ 個人で行い、慣れてきたらペアで行う。</li> <li>・ 映像を視聴させる前に、何を聞き取れば良いか確認する。</li> <li>・ 単なる聞き取りにならないように、「自分が過ごすならどの夏休みが いいか」など、自分の考えを持たせながら視聴させると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師用絵カード</li> <li>・ デジタル教材</li> </ul>
<p>○ (WC2-U5) 【Let's play】</p> <p>「フェイントリピートゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 2 枚程度の絵カードから、指導者が言う単語が正しければリピートする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童と言い方を確認しながら場所や食べ物の絵カードを掲示する。</li> <li>・ 指導者がさすものを、指導者の後について発音するように言う。慣れてきたら、指導者は指した物と違う語を言う。児童はそれに惑わされないように、さされた単語を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> </ul>
<p>【Let's Talk】</p> <p>○夏休みに行った場所や食べたものを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休みに行った場所と食べたものについてペアで伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べたものなどを紹介し、一人の児童に how about you? と問いかけ発話を促す。発話を助けながら、これを複数名と行い、児童にやり方を理解させる。</li> <li>T: I went to the sea. I ate ice cream. How about you?</li> <li>S1: I went to the amusement park. I ate a hamburger.</li> <li>・ ペアで夏休みに行った場所食べたものについて伝え合うように指示する。</li> <li>・ 児童の実態に合わせて、前時で伝え合った I went to～. の内容に食べたものを加えて伝えてもよい。</li> <li>※児童用の巻末絵カードを使い、見せ合いながら児童の夏休みについて伝え合うこともできる。</li> </ul>	<p>(児童用巻末絵カード)</p>
<p>○Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。</li> <li>・ 振り返りカードに記入する。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。</li> <li>・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</li> <li>・ 感想を発表させる。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート 3 枚</li> <li>・ 振り返りカード</li> </ul>

2-Lesson 5 My Summer Vacation. 3/4 時間

目 標 ◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことを言ったり聞いたりすることができる。

準 備 デジタル教材、教師用カード（動作、飲食物、場所、状態・気持ち）児童用テキスト、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
<p>○挨拶をする。</p> <p>○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) food jingle</p> <p>○ (WC2-U5) 【Let's Chant】 My Summer Vacation.</p> <p>・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。</p>	<p>・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。</p> <p>・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。</p>	<p>・ デジタル教材</p>
<p>○ (WC2-U5) 【Let's play】 ポインティングゲーム</p> <p>p 3 4, p 3 5</p> <p>・ 指導者が夏休みに関わる語彙（感想）を言うのを聞いて、その語を表す絵を指す。</p> <p>・ 前時と同様に取り組む。</p> <p>○ (WC2-U5) 【Let's Listen 2】 p37</p> <p>「誰がどんなことをしたのか聞き取ろう。」</p> <p>・ 音声を数回聞いて、内容に合うように誌面にある登場人物と絵などを線で結ぶ。</p>	<p>・ 前時までの活動と同様にする。</p> <p>・ 単語だけ答えさせたり、表現を合わせたりして、行った場所、食べたもの、感情を表す表現など、同じポインティングゲームでも変化をつけて行うようにする。</p> <p>・ 音声を聞かせる前に、誌面のイラストの単語を確認したり、何を聞き取るか確認する。</p>	
<p>○ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 2】 p38</p> <p>「夏休みの思い出について聞こう」</p> <p>・ 映像資料を視聴し、登場人物が夏休みにしたことや、感じたことを聞いて、表に記入する。</p>	<p>※Did you ～? など未習語も一部含まれるが、ここではやりとりの様子を聞かせることを優先する。聞き取る情報（したこと、感想）に注目させるようにする。</p>	
<p>【Let's Talk】</p> <p>○夏休みの思い出について伝えあおう。</p> <p>・ 夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことなどを伝え合う。</p>	<p>・ 指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べたものなどを紹介し、一人の児童に how about you? と問いかけ発話を促す。発話を助けながら、これを複数名と行い、児童にやり方を理解させる。</p> <p>T: I went to the sea. I enjoyed eating ice cream. How about you?</p> <p>S1: I went to the mountain. I enjoyed hiking.</p> <p>・ ペアで夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことなどについて伝え合うように指示する。</p> <p>・ 児童の実態に合わせて、前時で伝え合った内容に楽しんだことを加えて伝えてもよい。</p>	<p>・ 夏休みについて紹介する写真や実物など</p>
<p>○Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</p> <p>・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。</p> <p>・ 振り返りカードに記入する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。</p> <p>・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</p> <p>・ 感想を発表させる。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>・ ワークシート3枚</p> <p>・ 振り返りカード</p>

2-Lesson 4	She can run fast. He can jump high.	4/4 時間
<b>目 標</b> ◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことやその感想をいったり聞いたりすることができる。		
<b>準 備</b> デジタル教材，教師用カード（動作，飲食物，場所，状態・気持ち）児童用テキスト，振り返りカード		

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) food jingle ○(WC2-U5) 【Let's Chant】 My Summer Vacation. ・音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○(WC2-U5) 「フェイントリピートゲーム」 ・12枚程度の絵カードから、指導者が言う単語が正しければリピートする。	・児童と言い方を確認しながら場所や食べ物の絵カードを掲示する。 ・指導者がさすものを、指導者の後について発音するように言う。慣れてきたら、指導者は指した物と違う語を言う。児童はそれに惑わされないように、さされた単語を言う。	・教師用絵カード
○(WC2-U5) 【Let's Listen 3】 p38 「夏休みの思い出について聞こう」 ・英語の音声を聞き、登場人物が夏休みの思い出について話しているのを聞いて、どこへ行ったかを考えて、誌面の絵から選んで線で結ぶ。	・一気に聞かせると難しく感じる児童もいるので、一人の音声が終わるたびに間をおいて確認するなど、児童の実態に合わせる。 ・登場人物4人が、ある場所に行っていたこと、その感想を話し、最後に guess where I went. クイズを出している英語の音声を聞かせる。(クイズが出されたとき、画面には山、ショッピングモール、川、遊園地、祭り、古い町並み、プールのイラストが表示されている。)	・デジタル教材
【Let's Talk】 ○夏休みの思い出について伝えあおう。 ・夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだこと、感想などを伝え合う。 ・これまで話してきた内容に感想を加えるようにして行くとよい。	・指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べたものの感想などを紹介し、一人の児童に how about you? と問いかけ発話を促す。発話を助けながら、これを複数名と行い、児童にやり方を理解させる。  T: I went to the sea. I enjoyed eating ice cream. It was delicious. How about you? S1: I went to the mountain. I enjoyed hiking. It was beautiful.  ・ペアで夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことその感想などについて伝え合うように指示する。	
(WC2-U5) 【Let's Read and Watch】 <b>夏休みの日記を読もう。</b> ・日記の内容を表したデジタル教材を視聴する。続いて、デジタル教材の音声に合わせて日記の英文を読む。 ・読んだ内容を参考に、内容に合う絵を選ぶ。 (WC-U5) 【STORY TIME】 ・文字を見ながらデジタル教材の音声を聞き、音声の後について言う。	・児童が抵抗感なく取り組むことができるように段階をおって活動を設定する。  ・読んでいる文字を押さえながら読むようにする。	
○Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	・ワークシート3枚  ・振り返りカード

